

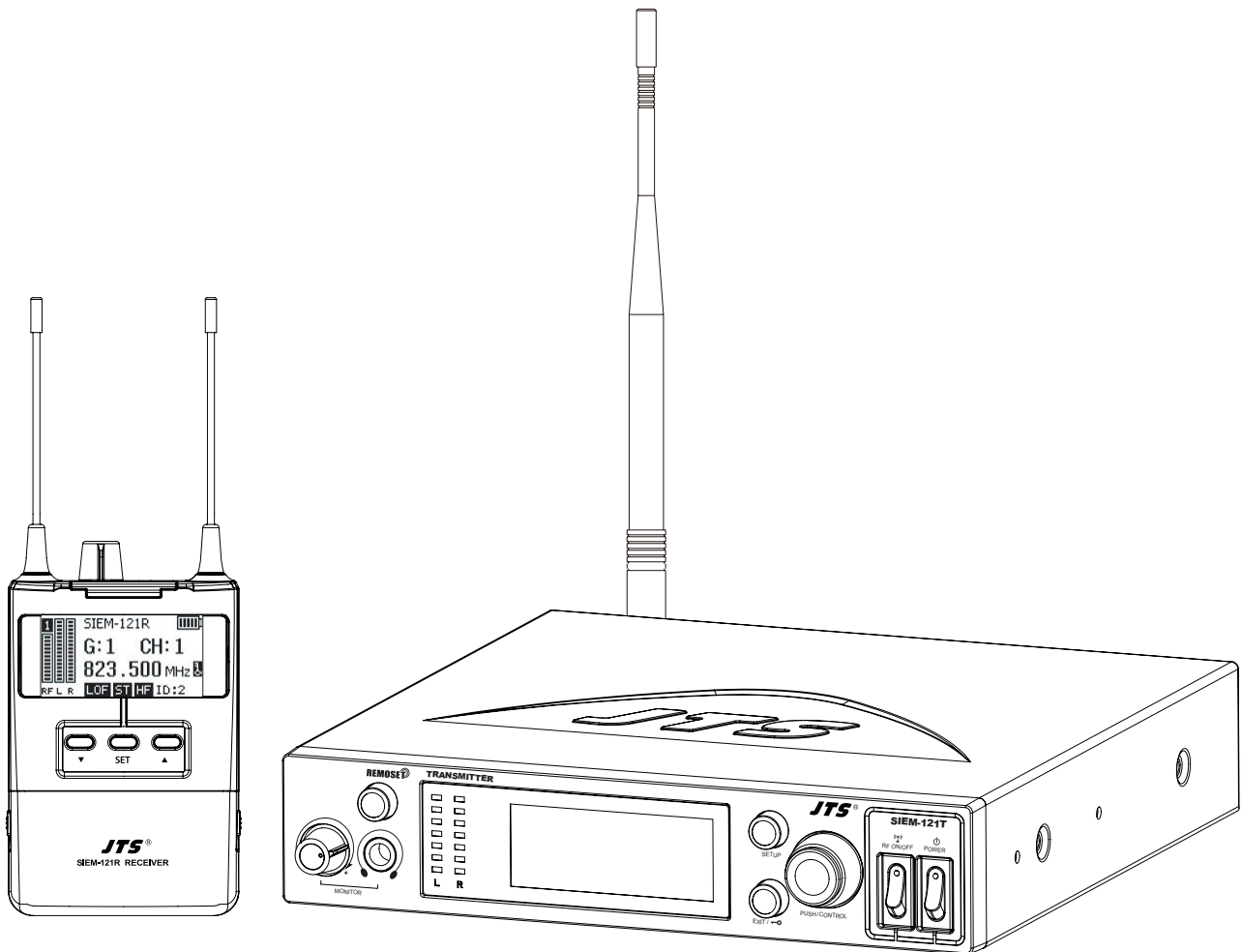


SIEM-121T/SIEM-121R

UHF PLL Stereo In-Ear Monitoring System

取扱説明書

Ver. 1.0



主な特徴

SIEM-121T(送信機)

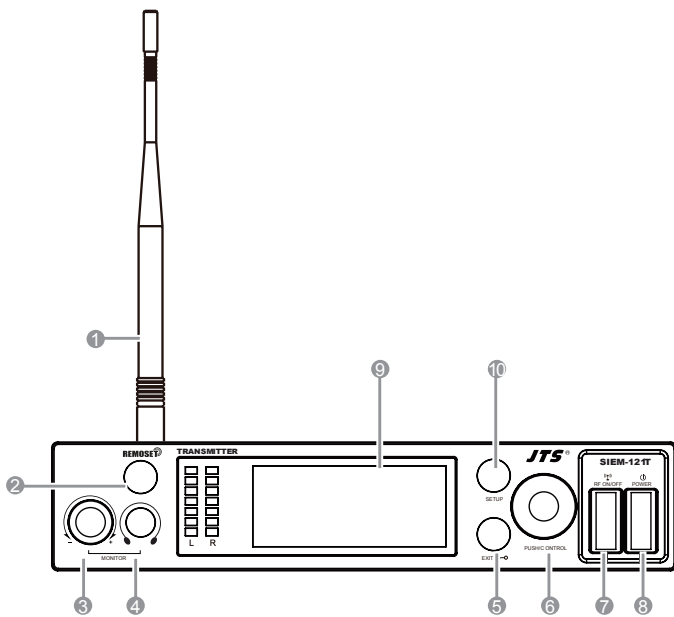
- JTS 独自のペアリング機能 (Remoset) を搭載。ワンボタンでデータ同期が行え、セットアップが簡単。
- 最大 90m の信頼性の高いワイヤレス・カバレッジ。
- デジタル音量調整: -40 ~ +20 dB。
- 最大同時使用数5波。
- 送受信機のユーザー名を変更可能。
- 堅牢な金属製の筐体。
- 日本の電波法規制上、アンテナは外せない仕様です。無理に取り外したり、分解・改造を行った場合、電波法違反となります。

SIEM-121R(受信機)

- SIEM-121 システム用ワイヤレス・ステレオ・ボディパック受信機。
- ステレオ/モノ、HF プースト、ボリューム・リミッターでモニター音を調整。
- 可変リミッターでボリュームつまみの最大レベルを設定可能。
- L/R バランス調整に対応。
- 視認性に優れた高コントラスト LCD。
- 軽量薄型のコンパクト設計で装着感を向上。
- 単3形電池×2 使用で最長約 6 時間連続使用可能。

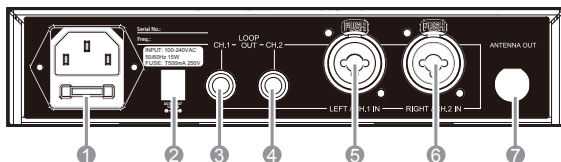
注意事項

- 最適な受信状態と動作距離を得るため、受信機と送信機の間に遮る物のないようにしてください。
- 金属物や干渉源から 50 cm 以上離してください。
- 長期間使用しない場合は受信機から電池を取り外してください。電池は2本同時に新品と交換してください。
- 家庭用電源に接続する前に、すべての接続を完了してください。
- 高温・多湿の場所を避け、濡れた手で電源コードへ触れないでください。火気・熱源から離してください。
- 電波法上、B帯の送信機のを改造（アンテナの取り外しやアンテナの延長など）することは禁止されております。使用時は必ず付属のアンテナを取り付けてください。付属のアンテナ以外を使用したり、BNCケーブルなどでアンテナを延長する行為も禁止されています。
- 過大音量で長時間使用しないでください。耳を傷めるおそれがあります。
- 適正環境温度は-10℃ ~ +50℃です。



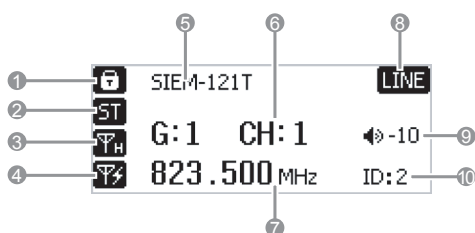
SIEM-121T フロントパネル

- ❶ アンテナ (※電波法の規制上、アンテナは外せない仕様になっております)
- ❷ REMOSET: 送信機側で設定後、REMOSET を押して受信機へ設定を送信します。
- ❸ ボリューム
- ❹ 6.3 mm ステレオ・フォン・ジャック
- ❺ EXIT/LOCKボタン: セットアップメニュー表示中は「EXIT」で項目選択を取り消しまたはメニューから退出します。セットアップメニューが表示されていない時に「EXIT」ボタン を3秒長押しでボタンをロックもしくは解除。ペアリング中は「EXIT」ボタン でペアリングを取り消します。
- ❻ CONTROLノブ: 機能設定メニューにて回転させ、項目を選択します。押し込んで決定します (詳細は後述の操作についての解説を参照してください)。
- ❼ RF パワー・スイッチ
- ❽ 電源スイッチ
- ❾ LCD ディスプレイ
- ❿ SETUP: 2秒長押しで設定メニューへ。6のCONTROLノブで設定後、「SETUP」ボタン を押して保存します。



リアパネル

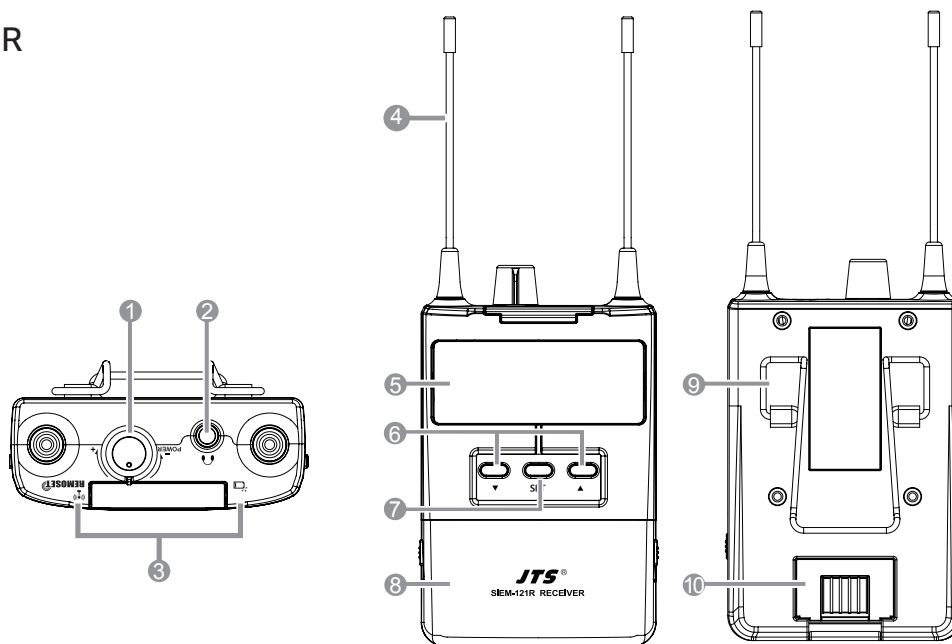
- ❶ AC 電源コネクタ / ヒューズ
- ❷ DC 入力端子 (12V/1A)
- ❸ バランス・ループアウト CH.1
- ❹ バランス・ループアウト CH.2
- ❺ バランス XLR/φ6.3 mm コンボ入力 (左/CH.1)
- ❻ バランス XLR/φ6.3 mm コンボ入力 (右/CH.2)
- ❼ アンテナ (※電波法の規制上、アンテナは外せない仕様となっています)



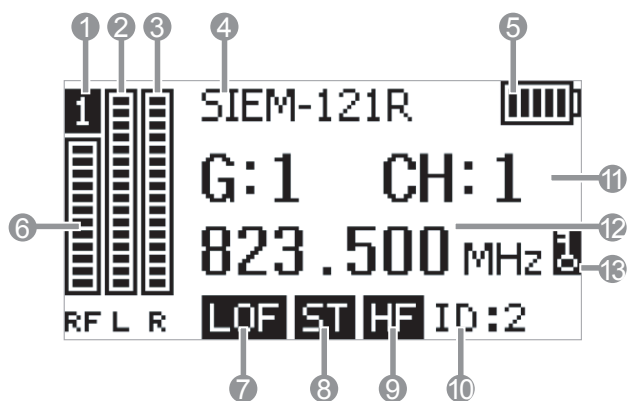
LCD 表示

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ❶ キーロック状態 | ❻ 現在のグループ/チャンネル |
| ❷ ステレオ/モノ表示 | ❼ 現在の周波数 |
| ❸ RF パワー: High / Low | ❽ 入力選択: LINE / AUX |
| ❹ RF スイッチ状態: RF ON / RF OFF | ❾ 感度: -40 ~ +20 dB |
| ❺ ユーザー名 | ❿ REMOSET ID |

SIEM-121R



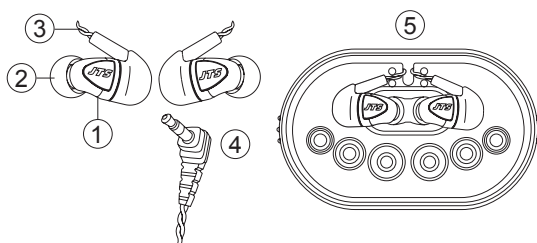
- | | |
|----------------------|-------------|
| ① 電源スイッチ/ボリューム | ⑥ ▲ / ▼ ボタン |
| ② 3.5 mm ステレオ・ミニジャック | ⑦ SET ボタン |
| ③ REMOSSET/電池インジケータ | ⑧ 電池トレイ |
| ④ アンテナ | ⑨ ベルトクリップ |
| ⑤ LCD ディスプレイ | ⑩ 充電端子 |



LCD 表示

- | |
|------------------------------|
| ① アンテナ表示 (1/2) |
| ② AF (音声信号) レベル表示 L チャンネル |
| ③ AF レベル表示 R チャンネル |
| ④ ユーザー名 |
| ⑤ 電池残量表示 |
| ⑥ RF (受信信号) レベル表示 |
| ⑦ リミッター表示: OFF / LEVEL 1 ~ 6 |
| ⑧ ステレオ/モノ表示 |
| ⑨ 高域ブースト表示 |
| ⑩ REMOSSET ID |
| ⑪ 現在のグループ/チャンネル |
| ⑫ 現在の周波数 |
| ⑬ キーロック状態 |

IE-1



- | |
|---------------------|
| ① イヤホン |
| ② シリコン・スリーブ |
| ③ ケーブル |
| ④ 3.5 mm ステレオ・ミニプラグ |
| ⑤ ケース |

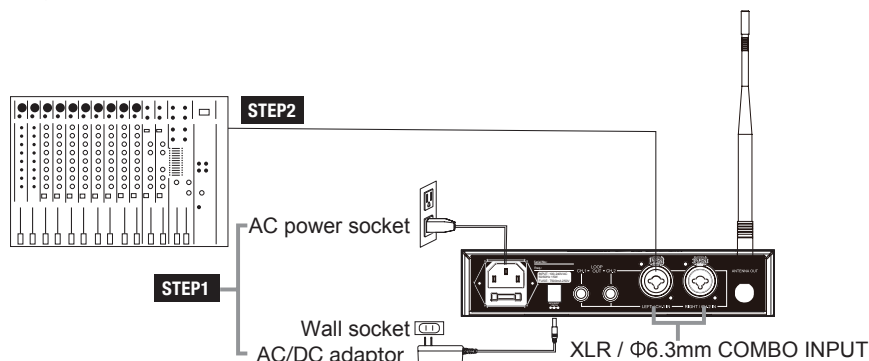
SIEM-121T

本体の電源接続 (STEP1)

付属の電源ケーブルの他に、電源アダプター (DC入力) も使用できます。

電源ケーブル (付属) : 背面 AC電源コネクタから家庭用電源 (100V) へ接続します。

AC/DCアダプター: アダプターの規格を確認 (DC12V、1A、センタープラス) し、DC側を本体DC 入力端子へ、AC側を家庭用電源 (100V) へ接続します。



音声機器 (例: ミキサー) の接続 (STEP2)

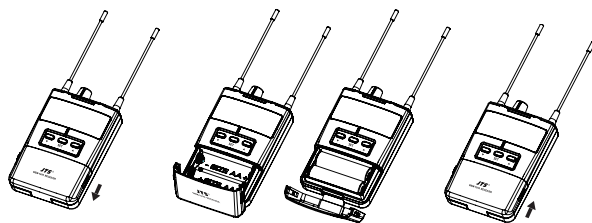
AF入力ケーブルで、ミキサー出力を背面の XLR/φ6.3 mm コンボ入力へ接続。

注1 : バランス XLR/φ6.3 mm コンボ入力を2系統装備。ステレオ入力時は両方使用可。複数システムではφ6.3 mm バランス・ループアウト端子を活用。

SIEM-121R

受信機の電池取り付け

1. 側面のマグネットラッチを下方向へ引いて電池カバーを開けます。
2. 極性表示に合わせて単3形電池を2本セットします。
3. 電池カバーを閉めます。
4. 受信機の 3.5 mm ステレオ・ミニジャックへ、イヤホンを挿し込み取り付けます。
5. 電源/ボリュームつまみを回して本製品の電源を入れ、音量を調整します。
6. 送信機の各種パラメーターを取扱説明書に従って設定します。



イヤホン

受信機の電池取り付け

1. 受信機のジャックへ、イヤホンを接続します。
2. 耳の保護のため、音量を低めに設定します。
3. イヤホンの左右 ("R" "L" 表示) を確認し、イヤホンを正しい位置へ装着します。
4. シリコン・スリーブのサイズが合わない場合は交換すると、快適さと遮音性が向上します。

SIEM-121T

電源 On / Off: “POWER” スイッチを押して送信機の電源をOn / Offします。

ボリューム: 音量を適切なレベルに調整します。

モニターボリューム: モニター音量を適切なレベルに調整します。

パラメーター設定

「SETUP」を2秒長押しで設定モードへ。ノブで項目選択。CONTROLノブ(または「SETUP」ボタン)を押して設定ページへ入り、CONTROLノブを回して値や機能を選び、設定します。設定後は、「SETUP」ボタン で保存。「EXIT」ボタン で前ページへ戻ります。

1. Frequency
2. Group
3. User Group
4. Stereo/Mono
5. Sensitivity
6. Input Selection
7. Remoset
8. RF Power
9. User Name
10. System Options
11. Exit

1. Frequency(周波数設定)

1MHz ステップ: CONTROLノブを回転させ選択

0.025MHz ステップ: CONTROLノブを回転させ選択

(各調整ステップはCONTROLノブの押し込みによって切り替え可能)

選択後、「SETUP」ボタンで確定します。

※基本的に、この「Frequency」では周波数を設定せず、
下記のグループ/チャンネル設定で周波数を選んでください。



2. Group/Channel(グループ/チャンネル設定)

プリセットまたは、ユーザーで登録されたグループ/チャンネルの送受信周波数を選択します。

G(グループ)

CH(チャンネル)



1. Edit
2. Clear Group
3. Return

3. User Group(ユーザー定義)

送受信周波数をユーザーが設定できます。(本機能は上級者向けの高度な設定項目です)

(1) 編集

G: U1~U6(グループ番号)

CH: 1~24(チャンネル)

周波数: ---.--- MHz(編集可)

(2) グループ消去

#1 ノブを回して消去するグループを選び、ノブを押してグループを消去します。

#2 グループ内のすべてのチャンネルの周波数値がリセットされます。



Group:U1
Rotary to select
Push Knob to clear
Push EXIT to return

4. Stereo/Mono

ステレオまたはモノラルを選択します。

Stereo/Mono

☒ Stereo

☐ Mono

5. Sensitivity(感度)

-40 ~ +20 dB の範囲で調整します。

Sensitivity

10 dB

6. Input Selection(入力レベル選択)

LINE / AUX を選択します。

※LINEの方がミキサーなどの大きな入力レベルに対応しています。

Input Selection

☒ Line

☐ AUX

7. Remoset

Remosetで受信機に同期させる情報を設定します。

CONTROLノブを回して設定する項目を選び、CONTROLノブを押して値を設定します。

もう一度CONTROLノブを押してメニューに戻ります。設定後、SETUP ボタンを押して設定値を保存するか、EXIT ボタンを押して設定をキャンセルします。

設定後、メインメニューへ戻り、REMOSET ボタンを押して、設定したパラメーターを受信機へ同期させます。

ID: REMOSET ID(0~255)を設定します。受信機側がIDの一致を求めている場合、受信機と同じIDになっていないと同期されません。

Stereo/Mono: 受信機の Stereo / Mono を設定します。

HF Boost: 受信機の高域ブーストを設定します。

Key Lock: 受信機のキーロックを設定します (Remosetで同期後、受信機のキーロックがかかります)。

Sync Options: REMOSET で同期送信する項目を選びます。CONTROLノブを回して項目を選び、CONTROLノブを押してチェックします。チェックした項目のみ同期します。

ID1

Stereo/MonoStereo

HF BoostON

Key LockUnlock

Sync Options

ID1

Stereo/MonoStereo

HF BoostON

Key LockUnlock

☒ Frequency

☒ Stereo/Mono

☒ HF Boost

☒ Language

☒ Key Lock

☒ User Name

8. RF Power(送信出力)

High 高出力で送信します。

Low 低出力で送信します。

RF Power

☐ High

☒ Low

※高出力で送信すると、送信距離が伸び、送受信が安定しますが、他の機器との電波干渉を起こす可能性があります。

9. User Name(ユーザー名の編集)

英数字・記号をノブで選び、押して入力します(最大10文字まで)。

Edit User Name

SIEM-121T1/10

MNOPQRSTUVWXYZ

10. System Options(システム・オプション)

(1) Display Options(表示設定) :

Contrast(コントラスト) 0～9 (標準 5)

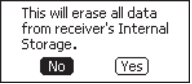
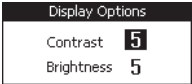
Brightness(輝度) 0～9 (標準 5)

(2) Language(言語) :English(英語) / 中文(中国語)

(3) Factory Reset(工場出荷設定に戻す) :YES／NO

(4) Return(前の階層に戻る)

11.Exit(設定を終了)



SIEM-121R

SET ボタンを2秒押しして設定モードへ。SET を押しして項目を順送りし、▲/▼ボタンで値を設定します。SET を押しして保存して退出します。

1. Frequency(周波数)

1MHz ステップ:▲/▼ボタンで選択

0.025MHz ステップ:▲/▼ボタンで選択

2. Group/Channel(グループ/チャンネル)

G:

CH:

3. Scan(スキャン設定)

(1) All Group (全グループをスキャン):

スキャン開始:SET (SET で中断可能)

メニューへ戻る:▼

(2) Scan Result (スキャン結果の確認):

すべてのグループをスキャンし終わると、結果が画面に表示されます。

グループを選ぶには、Up/Downボタン(▲/▼)を使います。SETを押してから、Up/Downボタン(▲/▼)でチャンネルを選びます。

選択を保存するには、もう一度SETを押します(G/CH)。

*この操作を行うには、最初にすべてのグループをスキャン (Scan>All Group) しておく必要があります。

(3) Current Group(個別のグループをスキャン):▲(G+) でグループ選択→「SET」ボタン でスキャンします。

終了後、「SET」で次のチャンネルをスキャンします。

▲ (Save)で保存(そのチャンネルが登録されます)、

▼ (Return)でメインメニューへ。

(4) スキャンに時間がかかる場合:「SET」ボタン でスキャンを停止できます。

1. Frequency
2. Group/Channel
3. Scan
4. Stereo/Mono
5. HF Boost
6. Balance
7. Limiter
8. Audio Output
9. Remoset
10. User Name
11. Key Lock
11. System Options
13. Exit

Setup Frequency
823.500 MHz
G:1 CH:1

Setup Group
G: 1 CH: 1
823.500 MHz

1. All Group
2. Scan Result
3. Current Group
4. Return

Scan All Group
Return Start

Scan All Group
Scanning... 10%
Stop

Scan Result
G: 1 CH: 1
Open Channel : 14

Scan Result
G: 1 CH: 1
Open Channel : 14

Scan Result
No Scan Data, Scan All Group First.
Return

Scan Current Group
G: 1 CH: 1
Return Start G+

Scan Current Group
G: 1 CH: 3
Return Next Save

Scan Current Group
G: 1 CH: 3
Stop

4. Stereo / Mono

Stereo (ステレオ) ▲

Mono (モノラル) ▼



5. HF Boost

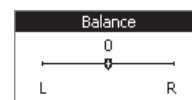
Disable (無効) ▲

Enable (有効) ▼



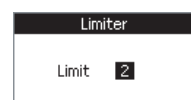
6. Balance

L10 ~ 0 ~ R10 で左右バランス調整



7. Limiter

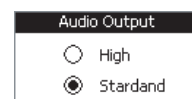
OFF または LEVEL 1~6 (▲/▼で切替)



8. Audio Output

高 ▲

標準 ▼



9. Remoset

(1) Remoset

En (有効): 送信機とのRemosetによるペアリングを有効にします。

Dis (無効): 送信機とRemosetによるペアリングを無効にします。

1. Remoset	En
2. Use ID	Yes
3. ID	1
4. Save and Exit	
5. Exit without Save	

(2) Use ID

Yes: 送信機とペアリングするには、IDを送信機と同じにする必要があります。

No: 送信機のIDに関係なく、送信機とペアリングします。

(3) ID: ▲/▼ボタンで0~255を選択します。(上記、Use IDでYesとなっている場合、送信機とのID一致が必要となります。)

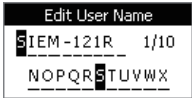
(4) Save And Exit (保存して終了): 設定値を保存し、メインメニューへ戻ります。

(5) Exit Without Save (保存せずに終了): 設定値を保存せず、メインメニューへ戻ります。

注意: 受信機と送信機のIDを同じにしてください。

10. User Name(ユーザー名)

▲/▼キーを押して文字、数字または記号を選択し、Setキーを押して入力、入力すると次の単語の入力に移ります' 10文字)。



11. Key Lock(キーロック)

Lock ▲

Unlock ▼

キーロックしている場合、操作ボタンが無効になります。解除するには、「SET」ボタンを2秒間長押しが必要となり、キーロックを解除すると、再度この項目に入り、キーロックを解除できます。



12. System Options(システム・オプション)

(1) Display Options(表示設定)：

Contrast(コントラスト) 0～9(標準 5)

Brightness(輝度) 0～9(標準 5)



(2) Light time(バックライト点灯時間)

オフ、5/10/15/20/25/30/60秒、Keep On(常時ON)



(3) Language(言語)：

Englilh(英語)/ 中文(中国語)



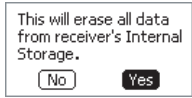
(4) Factory Reset(工場出荷設定に戻す)：

YES／NO



13. Return

前の階層に戻ります



基本セットアップ

Stereo

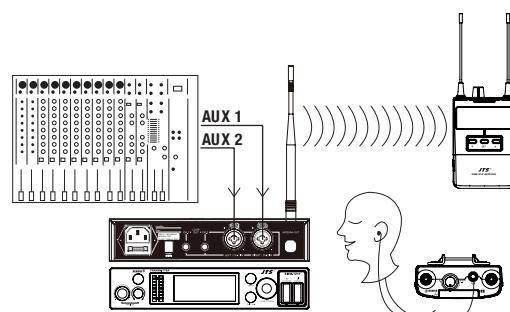
ミキサーの L/R ステレオ出力を使用し、SIEM-121R のバランスで音量を調整します。

- 1) ミキサー出力を送信機入力へ接続。
- 2) SIEM-121T を Stereo モードへ。
- 3) SIEM-121R を Stereo モードへ。

Mix

トランスミッターをStereo、レシーバーをMonoに設定し、レシーバーの「Balance(バランス)」で2chの音量比を調整します(出力はモノラルになります)。

- 1) ミキサー出力を送信機入力へ接続。
- 2) SIEM-121T を Stereo モードへ。
- 3) SIEM-121R を Mono モードへ。

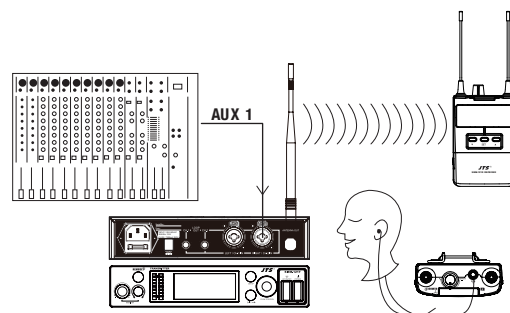


Mono

ミキサー出力が1系統のみの構成。

- 1) ミキサー出力を送信機入力へ接続 (LEFT/CH.1 または RIGHT/CH.2)。
- 2) SIEM-121T を Mono モードへ。

注: SIEM-121R の Stereo / Mono 設定は影響しません。

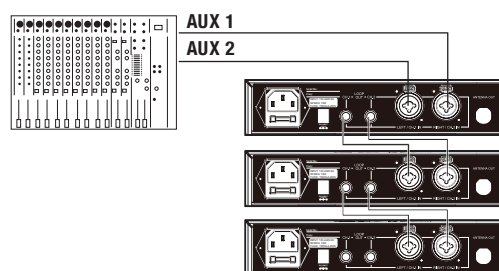


ループアウト

複数レシーバー向けステレオシステム

ミキサーからの1系統のステレオ信号を複数のSIEM-121Tへ送るには、ループアウト端子を使用します。

- 1) 1台目の送信機にミキサーからの出力を接続します。
- 2) 1台目のループアウトを2台目の入力へ接続。
- 以降、同様に接続します。

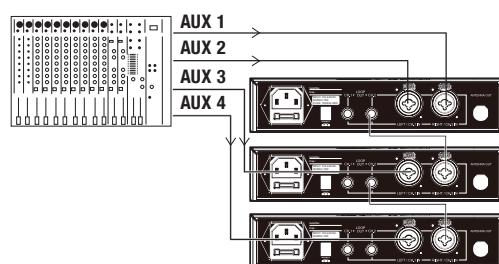


複数のレシーバーで個別のミックスをつくるセットアップ

各演奏者が個別ミックスをつくるセットアップ。

- 1) バンド全体のミックスを1台目送信機の Right/CH.2へ接続します。
- 2) 1台目の CH.2 ループアウトを2台目以降の Right/CH.2 へ接続。
- 3) 各演奏者のソロミックスを各送信機の Left/CH.1へ接続します。

SIEM-121Tは、Stereoモードに設定、SIEM-121RはMonoモードに設定し、「Mix」と同様にSIEM-121RのBalanceでMixを調整します



チャンネルプラン表

Frequency(MHz)	Group				
	1	2	3	4	5
806.125	1-1				
806.250		2-1			
806.375					
806.500		2-2			
806.625			3-1		
806.750				4-1	
806.875					
807.000		2-3			
807.125	1-2				
807.250					
807.375			3-2		
807.500					
807.625					5-1
807.750	1-3				
807.875		2-4			
808.000				4-2	
808.125					5-2
808.250				4-3	
808.375					5-3
808.500		2-5			
808.625			3-3		
808.750					5-4
808.875			3-4		
809.000	1-4				
809.125					
809.250			3-5		
809.375				4-4	
809.500	1-5				
809.625					5-5
809.750				4-5	

	G1	G2	G3	G4	G5
1	806.125	806.250	806.625	806.750	807.625
2	807.125	806.500	807.375	808.000	808.125
3	807.750	807.000	808.625	808.250	808.375
4	809.000	807.875	808.875	809.375	808.750
5	809.500	808.500	809.250	809.750	809.625

UHF PLL シングルチャンネル送信機 // SIEM-121T

キャリア周波数範囲	806.125～809.750 MHz
RF 出力	10 mW
定格周波数偏移	±40 kHz(最大)
音声入力インピーダンス	20 kΩ
定格入力レベル	−12 dBu
最大入力レベル	AUX: 12 dBu、LINE: 22 dBu
オーディオ入力端子	バランス XLR / φ6.3 mm フォン・コンボ端子 ×2
オーディオ出力端子	6.3 mm ステレオ・フォン・ジャック ×1
ループアウト端子	6.3 mm バランス・ループアウト ×2
電源	100～240 V
寸法	210 (W) × 42 (D) × 225 (H) mm
質量	1140 g

ボディパック受信機 // SIEM-121R

キャリア周波数範囲	806.125～809.750 MHz
イヤホン出力	60 mW
最小負荷インピーダンス	16 Ω
出力端子	3.5 mm ステレオ・ミニジャック
電池	単3形×2 または NiMH 充電電池×2
連続使用可能時間	約6 時間
寸法	65 (W) × 20 (D) × 95 (H) mm
質量	30 g(電池除く)